

カシオは、独創的なモノづくりによる社会への貢献を基本に、ステークホルダーとのより良い関係づくりを追求してきました。

事業活動を通じて

1957

世界初の小型純電機計算機を商品化、カシオ計算機株式会社を設立



小型純電機計算機「14-A型」

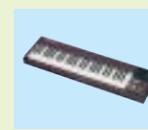
社会・環境 保全活動を通じて

- 1965年 トランジスタを採用した電子式1号機「001型」を発売。
- 1966年 電子式卓上計算機を海外に初輸出
- 1970年 東京証券取引所二部に株式上場
- 1972年
 - 世界初のパーソナル電卓「カシオミニ」発売
 - 東京証券取引所第一部に指定替え
- 1974年 デジタル時計「カシオトロン」を発売、時計事業に参入
- 1976年 電子式金銭登録機（ECR）発売
- 1978年 時計用液晶パネル生産「カシオトロン」開始、デバイス事業に進出
- 1979年 日本語オフィスコンピュータ「Σ-S8700シリーズ」発売



世界初の電気式計算機を開発し、日本の計算機産業の形成、科学技術の発展に貢献。

- 1980年 電子楽器「カシオーン」発売
- 1981年
 - 電子辞書1号機「TR-2000」発売
 - ソーラー電卓（SL-801）発売
- 1983年
 - 耐衝撃腕時計「G-SHOCK」1号機発売
 - ポケット液晶カラーテレビ「TV-10」発売
- 1984年 液晶シャッター式ページプリンタ1号機発売
- 1985年
 - ポケット液晶カラーテレビ「TV-1000」発売
 - 超薄型デジタルウォッチ「ベラ」（FS-10）発売
- 1989年 ユーザープログラム不要の事務用情報処理装置「ADPS R1」発売



「カシオーン」



「TR-2000」



「G-SHOCK」

デジタル技術を活かした独創的な商品の創造を通じ、世界の人々の豊かな暮らしに貢献。

- 1991年 ラベル式印刷機「ネームランド」（KL-1000）発売
- 1992年 腕時計型血圧計「BP-100」を発売
- 1994年 高知カシオでTFT液晶工場の稼働開始
- 1995年
 - 世界初の液晶モニター付きデジタルカメラ「QV-10」を発売。
 - WIN98ミニノートPC「カシオベアFIVA」（MPC-101）発売
- 1996年 電波時計「DQD-10」を発売
- 1997年 カシオベア日本語版を国内にて発売
- 1999年
 - 世界初のGPS機能内蔵のウォッチを発売
 - 耐水・耐衝撃性を備えたcdma One対応携帯電話「C303CA」発売



「QV-10」



「カシオベアFIVA」

- 2000年
 - 指紋認証アルゴリズム「VeriPat™」を開発
 - 携帯機器向け小型高性能燃料電池の研究開発に成功
 - 腕時計型デジタルカメラ「リストカメラ」発売
- 2002年
 - 世界最薄のウェアラブルカードカメラ「EXILIM EX-S1」を発売
- 2003年
 - au初の200万画素カメラ付携帯電話発売
 - モバイル機器向け指紋認証デバイスを開発
 - データプロジェクター市場に参入
- 2004年 日立製作所と合併で携帯電話会社「カシオ日立モバイルコミュニケーションズ」を設立
- 2005年 (株)ルネサステクノロジと半導体実装技術で提携



「EXILIM EX-S1」



「au向けカメラ付携帯電話」

1980

顧客・従業員・取引先との関係づくりとともに、社会市民活動を積極的に推進。

- 1964年 能力主義に基づく資格制度を導入、教育研修制度を整備
- 1967年 “品質のカシオ”を掲げ、不良撲滅（NCZD）運動をスタート
- 1969年 “相互信頼、相互理解”を基本としたカシオ労働組合結成
- 1971年 “相互親和”を基に全国文具卸店と「カシオエイト会」を創立
- 1977年 計算機の発展に貢献したとして、内閣総理大臣から褒状授与



「カシオエイト会」



褒状

- 1981年
 - 「カシオワールドオープンゴルフトーナメント」開催
 - 一般消費者の問い合わせに対応するため、広報室内に「消費者課」を新設
- 1982年 「カシオ科学振興財団」を設立
- 1986年
 - 音楽文化の創造に寄与すべく音楽振興活動をスタート
 - 「全社品質高揚運動」がスタート。品質管理体制の強化を図る。
 - 社業貢献に対する最高表彰として「社長賞制度」がスタート
- 1989年 「消費者課」を「お客様相談室」に名称変更し、全国の地区に新設



「第1回カシオワールドオープン」



「カシオ科学振興財団設立記念パーティ」



「全社品質高揚運動」

1990

デジタル技術を活かした独創的な商品の創造を通じ、世界の人々の豊かな暮らしに貢献。

- 1990年 生産工場を展開するメキシコ・テファナ市から榎尾和雄社長が名誉市民を授与
- 1991年 環境保全委員会を発足
- 1993年
 - カシオ環境憲章、カシオ環境ボランティアプランを制定
 - 特定フロン、1,1,1-トリクロロエタン使用廃止
- 1997年
 - カシオホームページに環境への取り組みを掲載
 - 山形カシオでISO14001認証取得
- 1998年
 - 韓国カシオでISO14001認証取得
 - 「カシオ倫理行動規範」を制定
- 1999年
 - カシオグループ環境行動目標「クリーン&グリーン21」制定
 - グリーン調達ガイドライン制定
 - 法人向け電子文具のテープカートリッジ回収を開始
 - 執行役員制度を導入
 - 「環境報告書1999」を発行
 - エコプロダクツ1999へ出展

2000

生産量増大に伴う環境負荷を低減すべく、環境保全活動と環境配慮製品の創造に取り組む。

- 2000年 国内生産拠点およびカシオ計算機4事業所におけるISO14000認証取得完了
- 2001年
 - カシオグリーンプロダクツ30（C.G.P.30）を開始
 - 二次電池（充電式電池）のリサイクルを開始
- 2002年
 - 甲府カシオ（本社、一宮）、カシオマイクロニクス（山梨）3事業所でゼロエミッション（埋立率1%未満）達成
 - 法人向け使用済みパソコンおよび情報処理機器の回収・リサイクルを開始
 - 高知カシオがエネルギー管理優良工場（電気部門）資源エネルギー庁長官賞受賞
- 2003年
 - 企業改革プロジェクト発足
 - 「カシオ創造憲章」を制定
 - 「カシオ倫理行動規範」を改訂
 - 「カシオ行動指針」を制定
 - 家庭系使用済みパソコンの回収を開始
- 2004年 「CSR推進室」「CSR委員会」発足